

インパクトクラッシャ

■ L型 [中・細破碎用]

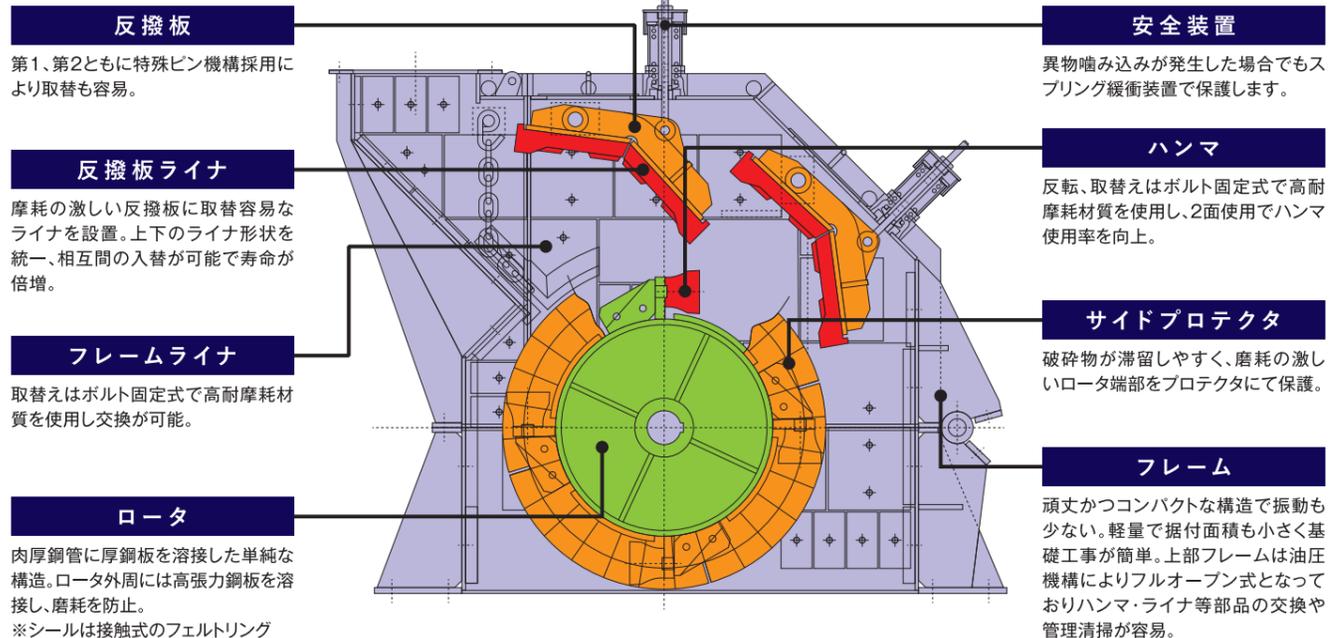


特長

- 1 少ない消耗品、大きな破碎比: 15~10
- 2 高破碎効率により理論値に近づいた破碎動力。
- 3 圧縮破碎製品と比べ剥片が少なく立方形を多く生産します。
- 4 取扱いが簡単で熟練を必要としません。
- 5 上部フレームが油圧開閉式でメンテナンスが容易です。

型 式	供給口の大きさ(mm)	最大投入塊(mm)	電動機出力(kW)	回転数(min ⁻¹)	機体質量	標準破碎能力(t/h)	外形寸法(概略)
L-2	690×324	110×160×220	22~37	311~830	3200kg	10~30	1610W×2270L×1300H
L-3	895×410	125×180×250	37~55	299~704	5900kg	30~60	1810W×2140L×1770H
L-4	1265×410	125×180×250	55~95	299~704	7800kg	40~80	2298W×2140L×1770H

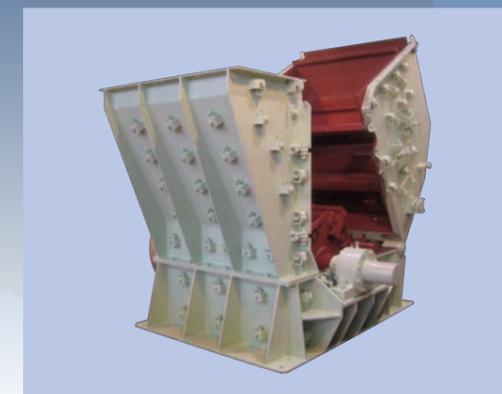
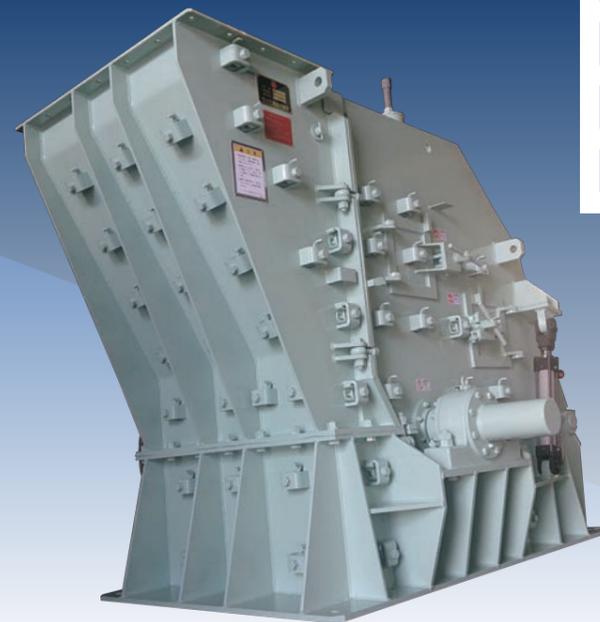
構造説明図



■ U型 [中・細破碎、整粒用]

特長

- 1 粒径実績判定率は極めて良好。
- 2 少ない消耗品、大きな破碎比: 10~3
- 3 高破碎効率により理論値に近づいた破碎動力。
- 4 取扱いが簡単で熟練を必要としません。



型 式	供給口の大きさ(mm)	最大投入塊(mm)	電動機出力(kW)	回転数(min ⁻¹)	機体質量	標準破碎能力(t/h)	外形寸法(概略)
U-4	1265×546	-150	55~75	378~661	9200kg	40~80	2360W×2780L×1955H
U-8	1255×530	-150	90~132	283~495	17000kg	80~130	2670W×3330L×2475H

破碎性能について (1) 破碎能力及び所要動力は、破碎物の性質、破碎量等により大幅に相違しますが記載能力は硬質原料細砕より軟質原料粗砕までの概略値を示します。
(2) ロータの周速は製品粒度に大きく影響します。したがってある種類の原料を破碎する場合、所要製品粒度に対する最適周速を決定する必要がありますが、一般に粗砕には20m/s前後、中砕には20~30m/s程度がその範囲であり、極細砕の場合は粒度に応じ、最高35m/sまで使用しますが原料の性質により、ある程度以上周速をあげても、細くなる割合が変化しない場合があります。

構造説明図

